

篠路駅周辺地区 第5回検討委員会

令和5年1月18日（水）

札幌市
まちづくり政策局都市計画部
事業推進課

0. 本日の内容

1. まちづくり計画について

1-1 まちづくり計画（案）の確認

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

<質疑応答>

2. 地域主体のまちづくり活動について

2-1 シノロリビングvol.2のご報告

2-2 SHINORO open!meetingについて

<質疑応答>

3. 今後のまちづくりの展開について

<質疑応答>

1. まちづくり計画について

1. まちづくり計画について

まちづくり計画の策定に向けて

地域協議会

検討委員会

令和
2年度

第1回
令和2年9月11日開催

済

第1回
令和2年10月7日開催

済

・ 篠路駅周辺地区の現況とまちづくりの方向性について

令和
3年度

第2回
令和3年10月5日開催

済

第2回
令和3年10月28日開催

済

・ まちづくり重点エリアの方向性について

第3回
令和4年1月21日開催

済

第3回
令和4年1月31日開催

済

・ 今後のまちづくりの展開について

令和
4年度

第4回
令和4年6月14日開催

済

第4回
令和4年6月28日開催

済

・ まちづくり計画（素案）の確認

第5回
令和4年10月11日開催

済

パブリックコメント 令和4年11月15日～12月14日 実施

第5回
令和5年1月18日開催

・ まちづくり計画（案）の最終確認

まちづくり計画の策定（令和4年度末）

1. まちづくり計画について

1-1 まちづくり計画（案）の確認

1-1 まちづくり計画（案）の確認

まちづくり計画（案）

まちづくり計画 本書



まちづくり計画 概要版



1. まちづくり計画について

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

パブリックコメント実施概要

◆パブリックコメントとは？

計画案への意見等を広く募集し、寄せられた意見等を考慮して計画を策定するとともに、その意見等に対する市の考え方等を公表する手続

◆実施概要

意見募集期間	令和4年11月15日～12月14日（30日間）
意見提出方法	郵送、持参、FAX、電子メール、ホームページの意見募集フォーム
資料閲覧・配布場所	<ul style="list-style-type: none">・札幌市役所本庁舎 （2階市政刊行物コーナー、5階事業推進課）・各区役所（市民部総務企画課広聴係）・北区内の一部のまちづくりセンター （篠路茨戸、太平百合が原、拓北・あいの里）・篠路コミュニティセンター・JR篠路駅・札幌市公式ホームページ

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

パブリックコメント結果概要

◆ご意見の内訳

(1) 意見提出者数 11名

・居住地別内訳

居住地	北区	市内他区	道内他市町村	道外	不明	合計
人数	9	2	0	0	0	11

(2) 意見件数 90件

分類	件数	構成比
第1章 計画策定の背景	13	14%
第2章 まちづくりの現状	12	13%
第3章 まちづくり基本方針	18	20%
第4章 実現に向けた展開	28	31%
その他	19	21%
合計	90	100%

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

1 計画策定の背景

1 / 13

ご意見の概要 【概要版1P】

- ・ 地域交流拠点の用語説明と、指定した経緯を記載すべき。

市の考え方

- ・ 地域交流拠点については、平成25年策定のまちづくり戦略ビジョンにおいて定めております。地域交流拠点の定義については、本書4～5Pの「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の説明の中で記載しております。

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

1 計画策定の背景

2 / 13

ご意見の概要

【本書 8 P】（概要版未掲載）

- ・ 2行目の公共交通（バス）が縦軸か横軸か不明である。

市の考え方

- ・ ご意見を踏まえ、修正いたします。

篠路駅周辺地区は、縦軸となる鉄道（JR札沼線）、幹線道路（東8丁目・篠路通、篠路中央通：花畔札幌線、篠路通）及びこれらの道路を通行するバスにより北区北部地区（太平・百合が原地区、及び拓北・あいの里地区）と繋がっています。また、篠路駅前及び縦軸を繋ぐ横軸の道路（横新道）との交差点付近には多様な機能が集積しており、交通軸と機能集積の状況から地区を3つのエリアで捉えることができます。

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

2 まちづくりの現状

3 / 13

ご意見の概要 【概要版4P】

- ・ 人口減少・少子高齢化が進む中、篠路地区は市内でも比較的地価が安く、子育て世代から高齢者には魅力的な転入要素と捉えられる。

市の考え方

- ・ 本計画ではまちづくりの視点①として、「若い世代、高齢者が住み続けたくなるまちづくり」を掲げております。今後も続く人口減少・高齢化を見据え、子育て世代の継続的な流入に繋がる篠路の魅力の維持向上と、若い世代が住み続けたくなる仕掛け、高齢者にとって住みやすいまちづくりが必要と認識しております。（概要版4P視点①に記載）

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

2 まちづくりの現状

4 / 13

ご意見の概要 【概要版4P】

- ・ 他地区と同じような画一的な駅前とするのは良くない。

市の考え方

- ・ 本計画ではまちづくりの視点⑤として、「魅力ある地域資源を共有」し、篠路らしい魅力あるまちづくりを目指しております。駅前街区は民有地であることから、地権者と計画の考えを共有し、協議を重ねながら篠路地区の個性や特色を生かした土地利用について検討していく必要があると考えます。 （概要版4P視点⑤に記載）

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

2 まちづくりの現状

5 / 13

ご意見の概要 【概要版4P】

- ・ 駅前の再開発に合わせた賑わいづくりが必要である。

市の考え方

- ・ 本計画ではまちづくりの視点④として「にぎわい・交流の場の創出」掲げております。駅前街区は民有地であることから、地権者と計画の考えを共有し、協議を重ねながら視点を踏まえた土地利用について検討していく必要があると考えます。（概要版4P視点④に記載）

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

2 まちづくりの現状

6 / 13

ご意見の概要 【概要版4P、8P】

- ・ 倉庫群は歴史的価値を鑑み、所有者の意向を尊重しつつ保存活用の機運が醸成されることを願う。
- ・ 郷土資料館などで文化を保存すべき。
- ・ 篠路駅高架・建て替えに当たり、駅舎保存や、歴史が受け継がれるよう配慮すべき。
- ・ 丸ノ線街道踏切撤去の際には、標識の保存など歴史が受け継がれるよう配慮すべき。

市の考え方

- ・ (次頁に記載)

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

2 まちづくりの現状

6 / 13

市の考え方

- 魅力ある地域資源の共有はまちづくりに必要な視点と考えております。郷土資料館は原則行政により運営されるものではないこと、また、ご意見を頂いた施設は札幌市の資産ではないことから、本計画では保存等について具体的な考え方を示すことはできませんが、地域主体のまちづくり活動において「既存資源の有効活用」を掲げており、令和4年度の社会実験の中でも地域の皆様に篠路の文化・歴史を受け継ぐ活動に取り組んでいただきました。
- 地域の資源を伝える方法は様々ありますが、その文化財を大切にし、次の世代に伝えていきたいという地域の思いが重要であることから、地域の自主性を尊重していきたいと考えております。

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

3 まちづくり基本方針

7 / 13

ご意見の概要 【概要版6P】

- ・ 東エリアと西エリアをつなぐ、駅前エリアは結節点としての役割を果たしてきた。今後も結節点として発展して欲しい。
- ・ 線路により両エリアの交通が分断されているが、住民の精神的な結節点は、駅前エリアである。今後も両地区の結節点は駅と神社のある駅前エリアであることに変わりはない。

市の考え方

- ・ 篠路駅周辺地区は、鉄道高架事業による東西市街地の分断解消をはじめ、自由通路整備、歩道拡幅、バリアフリー化等により市街地の移動円滑化が図られ、東西エリアと駅前を結ぶ地区住民の生活動線や来街者の回遊性向上が期待されます。東西エリアの中心となる駅前エリアについては、駅前にふさわしい顔づくりを目指します。

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

3 まちづくり基本方針

8 / 13

ご意見の概要

【本書44P】（概要版未掲載）

- ・ 1行目に「駅前エリアは・・・北区北部3地区の行政機能の中心」とあるが、そうなのか。

市の考え方

- ・ 篠路出張所は北区北部3地区の利便性向上を目指した窓口サービス拡充を行い、様々な行政手続きが可能となっております。ご意見も踏まえ、表現については「北区北部3地区の行政機能を支えるエリア」と修正いたします。
- ・ 【修正前】駅前エリアは・・・北区北部3地区の行政機能の中心となっておりますが
- ・ 【修正後】駅前エリアは・・・北区北部3地区の行政機能を支えるエリアとなっておりますが

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

3 まちづくり基本方針

9 / 13

ご意見の概要 【概要版8P】

- ・ 旧琴似川を楽しめる空間として整備すべき。

市の考え方

- ・ 旧琴似川の下流区間（篠路地区含む）は、北海道が整備・維持管理を行う1級河川であり、上流側から随時環境改善に向けた河川改修が進められております。空間の活用については、地域主体のまちづくり活動において、地域にある多様な場所をうまく活用しながら多世代が交流できる、笑顔あふれるコミュニティづくりを目指すこととしております。個々の取組については参加者の主体性を尊重することが重要であるため、地域の皆様が行いたい活動を支援していきたいと考えております。

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

3 まちづくり基本方針

10/13

ご意見の概要 【概要版8P】

- ・ 地元で地道に活動してきた組織の力が活かされるよう配慮すべき。

市の考え方

- ・ 概要版8Pに示す通り、地域主体のまちづくり活動を継続させていくには、現在地域で活動されている方々、新たな担い手など、多様な担い手により活動体制が構築されることが重要と考えております。

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

4 実現に向けた展開

12/13

ご意見の概要

【概要版11P】

- ・ 篠路出張所は駅前にあった方がよい。複合施設に入る形でもよいと思う。
- ・ 駅前エリアに商業機能、交流機能を誘致できるとよい。バリアフリー化や、篠路出張所とのアクセスに配慮すべき。

市の考え方

- ・ 出張所を含む公共施設については「札幌市市有建築物及びインフラ施設等の管理に関する基本的な方針」を踏まえ、将来的な配置や複合化など、今後のあり方について検討してまいります。
- ・ 駅前街区は民有地であることから、地権者と駅前エリアのまちづくりの方向性について共有し、協議を重ねながら駅前の生活利便性を向上する商業機能、地域コミュニティの拠点となる交流機能の導入について目指してまいります。また、バリアフリーへの配慮については、設計等の具体的な施設計画の段階で検討・配慮を行っていく必要があると考えております。

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

ご意見の概要と市の考え方

4 実現に向けた展開

13/13

ご意見の概要

【概要版12P】

- ・ 東エリアの土地利用は、駅前エリアの土地利用が決まってからの方がよい。施設だけに目を向けないで欲しい。

市の考え方

- ・ 概要版10Pに示している通り、各エリアによって土地利活用の可能な時期や、社会基盤整備の進捗などが異なるため、段階的な整備を考えており、早期に利活用が可能な市有地A・Cを先行して具体化を進めていく考えです。市有地Bや駅前街区はこれらのまちづくりの進捗に応じた柔軟な活用方法を検討します。適切なタイミングで土地利用を行うことでまちづくりの効果の最大化を目指します。

1. まちづくり計画について

質疑応答

まちづくり計画について

1-1 まちづくり計画（案）の確認

1-2 パブリックコメント実施結果のご報告

について、ご質問・ご意見があればお願いいたします。

2. 地域主体のまちづくり活動 について

2. 地域主体のまちづくり活動について

2-1 シノロリビングvol.2のご報告

2-1 シノロリビングvol.2のご報告

シノロリビングvol.2 実施内容

篠路駅前広場をつくる社会実験
シノロリビングvol.2
—新しいシノロの日常をつくる—
2022.8.25(thu)～28(sun)

【ポイント】

- ◆ 夏季の実施
- ◆ 取組コンテンツの拡大
- ◆ 多世代の交流
- ◆ 地域連携

前回から継続・発展



飲食や憩いの場



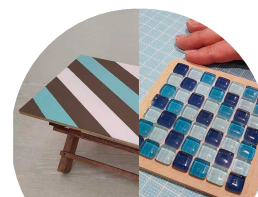
組立和室



図書とのふれあい



買い物の機会



チャレンジの機会



語らう機会



夜間の照明



文化の発信・体験



場づくりへの参加



親子の体験

2-1 シノロリビングvol.2のご報告

シノロリビングvol.2 実施中の様子



2-1 シノロリビングvol.2のご報告

シノロリビングvol.2 実施中の様子



2-1 シノロリビングvol.2のご報告

シノロリビングvol.2 実施中の様子



2-1 シノロリビングvol.2のご報告

シノロリビングvol.2 結果概要

空間利用状況

- 4日間で計約850人が利用
- 平日・休日ともに20時ごろまで来場者がみられた
- 飲食の利用者が多かったが、ほかのコンテンツと組合せた活用も多く見られた
- 40代が最も多く、次に30代、50代と続く
- シノロリビングを目的に来場する方が多い
- 「子供と」一緒に来場する方が多い
- 篠路駅周辺からは26%、北区北部3地区からは64%を占めるが、昨年よりも広域から来場する方の割合が増えた
- 徒歩30%、自動車利用は25%で去年より減少した一方、鉄道を利用する方の割合が14%に増加した

運営者の意見等

- キッチンカー等出店者の売り上げは概ね良好
- 座席数の不足や広報方法など改善の余地あり
- 継続的な活動、地域中心の取組を求める意見がみられた
- 天候への対応に関する意見がある一方で、屋外のメリットを重視する意見も見られた
- デザインの重要性を再認識（地域資源・照明等）

利用者の意見等

- 多機能の組合せから多世代の交流が生まれた
- 集える場所、立ち寄れる場所が欲しいという意見が多く見られた
- マルシェや地域のチャレンジなどを求める意見がみられた
- 「満足・まあ満足」は72%で、昨年より満足と答える人の割合が増加した

【考察】



- ・ 広場の需要や、地域のチャレンジ、地域中心の取組など、今後の活動を求める声があり、継続的な活動体制を検討していくことが重要
- ・ キッチンカーやワークショップなど、様々な活動の可能性が確認された
- ・ 子育て世代の来場が多く、若い世代が住み続けたいくなるまちづくりにつながる取組であった一方、若い世代が主体的に考えて取り組むことの重要性が確認された

2. 地域主体のまちづくり活動について

2-2 SHINORO open!meetingについて

2-2 SHINORO open!meetingについて

第5回地域協議会資料

地域協議会

- ◆ 引き続き企画を話し合える、意見を言いやすい場が必要
- ◆ 若い世代の意見も積極的に入れるべき
- ◆ 関わりたいと思う人が集まれる場
- ◆ 自主性が重要、成功体験を積み重ねられるとよい
- ◆ シノロリビングも地域が関わるきっかけ

検討委員会

- ◆ 若い世代が自由にアイデアを出せる場づくりが重要
- ◆ シノロリビングは継続した取組になるとよい、関わりができるきっかけにもなる
- ◆ 実走ができるまでは行政がサポートに入ったほうがよい

シノロリビング

- ◆ 主役は地域: 気持ちを持つ人がキーとなり、町内会等が関わるべき
- ◆ 集まって語り合えるイベントが時々あるとよい
- ◆ 地域の愛着を育てるには対話する機会が重要
- ◆ 地域がチャレンジできる場があるとよい

仮称

篠路OPEN! Meeting

行政支援

- 開催の支援
- 連絡調整 など

まちづくり計画

空間・資源の活用
多世代の交流
コミュニティ形成…

実現

気軽に話し合える場
いろいろな方が参加できる場

いつから始める?
どんな人たちで始める?

- 「日常的な居心地」を良くしてまちを魅力的にする取組
- 活動を通してまちを楽しみながら徐々に活動者・協力者を増やす取組

等により『街に小さな変化』を生み出していく場 (アクションファーストの場)

2-2 SHINORO open!meetingについて

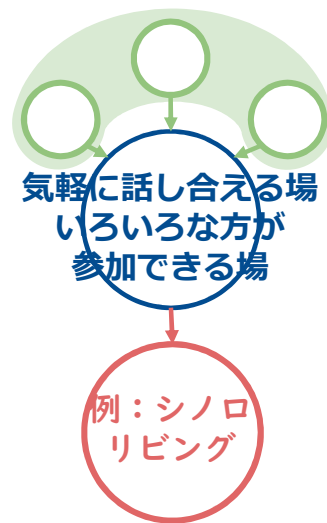
第5回地域協議会資料

今後の展開のイメージ

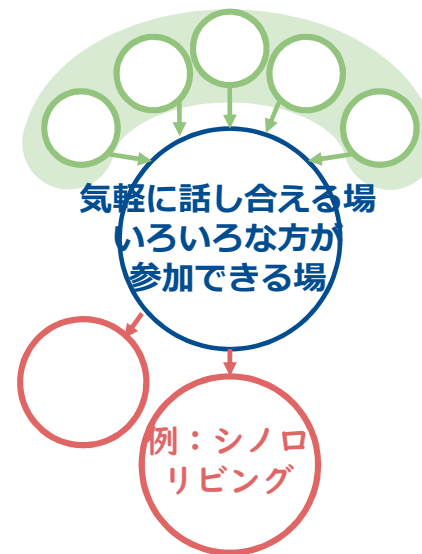
まずは…



①初動期



②助走期



③展開期



仮称

篠路OPEN! Meeting

- 継続できる取組を検討！
- 楽しみながら取り組むことが大切！
- スモールスタートから取組・繋がりを育てる！

2-2 SHINORO open!meetingについて

◆日時 : 2022.12.12(月)18時30分~20時

◆場所 : 篠路コミュニティセンター

◆参加者: 地域協議会委員 / シノロリビング来場者 有志15名

◆第1回 SHINORO open!meetingの流れ

1. 集まりの経緯 ~まちづくり計画とopen!meetingの開催経緯~
2. 事例紹介 ~地域を魅力的にする活動・楽しめる活動ってどんなこと?~
3. アイスブレイク ~篠路の好きな・過ごし方・印象・場所などを意見交換~
4. meeting! ~やってみたいことを自由に話し合ってみよう ~

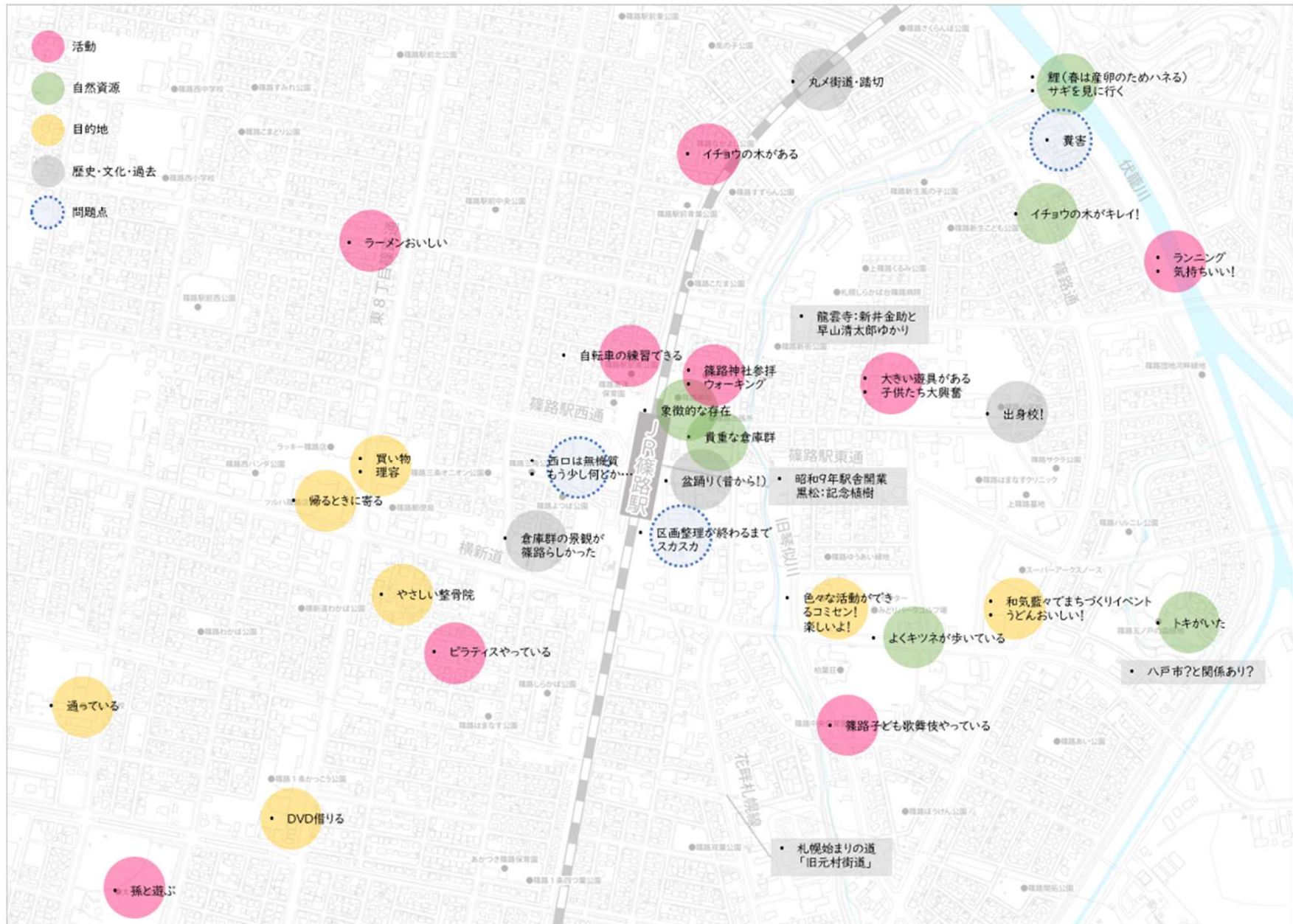
2-2 SHINORO open!meetingについて



2-2 SHINORO open!meetingについて

詳細は別紙1 参照

別紙1 再掲: 第1回実施記録「アイスブレイク!・好きな楽しみ方・過ごし方など」(power of 10+) SHINORO open!meeting

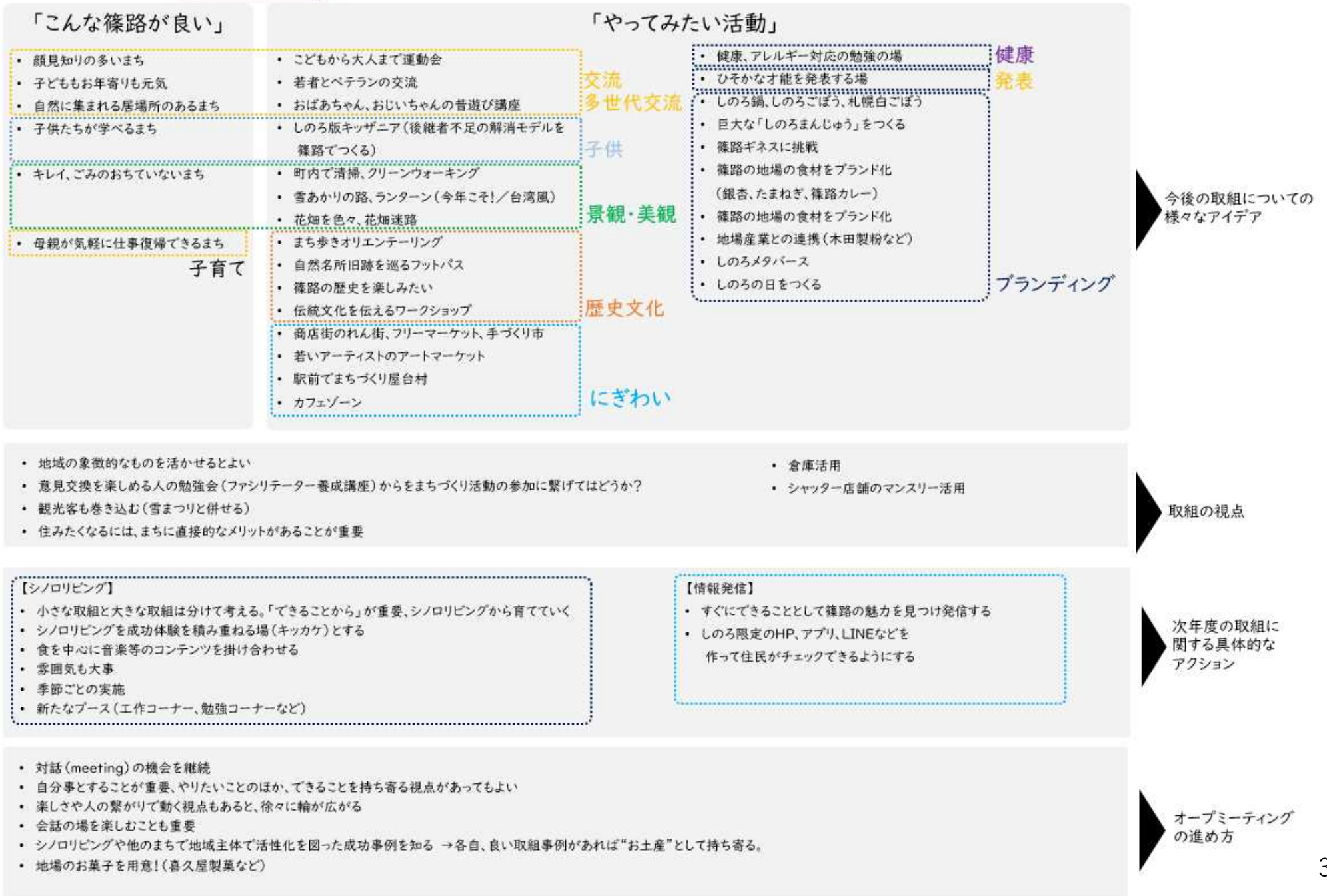


2-2 SHINORO open!meetingについて

詳細は別紙1 参照

第1回 open!meeting まとめ

SHINORO open!meeting



2. 地域主体のまちづくり活動について

第2回SHINORO open!meetingのイメージ

◆日時：2023年2月ごろ

◆実施概要

- ✓ 第1回会議の振り返りと提案事項に対するアクション
 - ・ 第1回会議の意見概要の振り返り
 - ・ 勉強会：他地区事例等情報の交換（事務局、参加者）
- ✓ SHINORO open!meetingの方向性について
- ✓ meeting
 - ・ 具体的な取組（アクション）についての意見交換
 - ・ 今後のSHINORO open!meetingについての意見交換

POINT

地域主体で会議や活動を継続

- … 引き続きアクションファーストを念頭に地域が楽しみながら会議や活動を継続できる環境を育てる
- … 話題や展開の方向性については、参加者による議論を重ねつつ進めていく

2. 地域主体のまちづくり活動について

質疑応答

地域主体のまちづくり活動について

2-1 シノロリビングvol.2のご報告

2-2 SHINORO open!meetingについて

について、ご質問・ご意見があればお願いいたします。

3. 今後のまちづくりの 展開について

3. 今後のまちづくりの展開について

今後のまちづくりの展開イメージ

令和4年度

社会基盤整備

約10年後



まちづくり計画
策定

計画に基づく段階的なまちづくりの展開

- ▶ 市有地A・B・Cの土地利用の展開
- ▶ 駅前街区の土地利用の展開
- ▶ 地域主体のまちづくり活動



札幌市（事業推進課）

まちづくりの進捗に応じて連携を図っていく

- ◆ 市民
- ◆ 地縁組織
- ◆ 関連事業（事業者・担当部局）
- ◆ 権利者
- ◆ 民間事業者
- ◆ 有識者

3. 今後のまちづくりの展開について

今後の展開に対するご意見、
今後のまちづくりで参加したいこと、
感想など、一言お願いいたします。

閉会

今後ともご協力よろしくお願いいたします。